

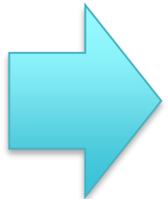
特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

発達支援室を軸とした連携体制

発達支援システムの整備・充実

就学・進級・進学・就労の移行期においても途切れることのない一貫した支援を提供するために、学校・関係機関の連携が必要



成果

充実

・保健、福祉、医療、教育、就労の関係機関の横の連携による支援

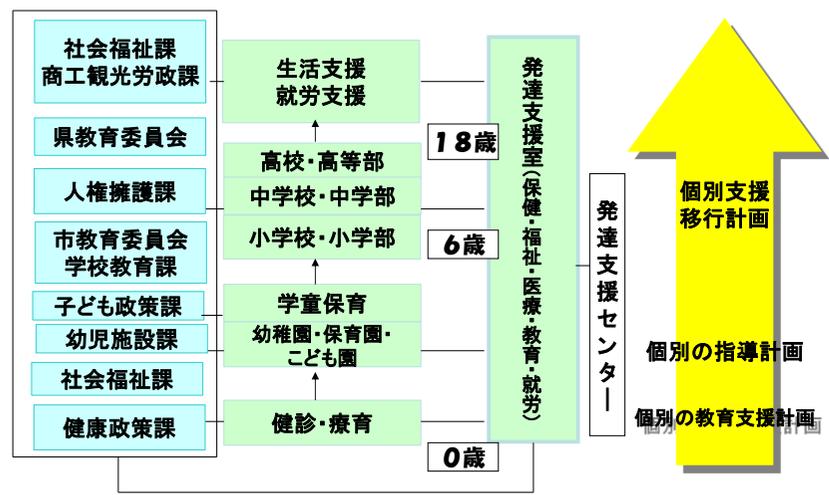
・個別の指導計画・教育支援計画・支援移行計画等を活用した縦の連携による切れ目のない支援

・ITネットワークを活用した連携

〈今後の課題〉市の教育・福祉に関わる体制が変わるため、システムの再構築が必要

事業内容

湖南省市発達支援システム



- 関係機関・関係部局連携のための各種会議の開催
(発達支援関係課課長会議・担当者会議・センター会議・巡回相談担当者会議・専門家による事例検討指導会議等)
- 巡回相談体制の整備・充実
- 湖南省市発達支援ITネットワークの整備
- 合理的配慮推進員・合理的配慮協力員・巡回相談員・インクルーシブ教育相談員・教育相談員・学校支援員等の配置
- 思春期相談会の開催 (年6回)
- 保護者向け・教員向け冊子の作成・活用
(発達支援システムハンドブック・特別支援教育ハンドブック・ここあいパスポート・相談窓口パンフレット)
- 読み書き教材「おとまるトリオのよみ・かきひろば」の作成・活用
- 放課後デイサービス事業所との連携